

# 創立百十周年 記念式典を終えて (雑感)

校長 鈴木 睦治



鈴木 睦治 宮崎 洋子

平成三十年  
九月五日、福  
島県立葵高等  
学校創立百十  
周年記念式典  
が滞りなく無  
事に終了しま

した。しかも大成功で、本当に安堵しています。

本式典の九月五日開催に当たっては、非常に天候が心配されました。一週間前の天気予報によれば、観測史上最大級の台風21号が新潟県沖を当日通過するため、式典開催そのものが危ぶまれました。最悪の場合は中止を検討することも余儀なくされました。運良く、会津への台風の直接的被害はほとんどありませんでしたが、ご存知のように、この台風は様々な面で特に関西で甚大な被害をもたらしました。関西空港の閉鎖や建物の倒壊等、今なおなかなか復旧が進んでいない状況で言葉が見当たりません。また、翌九月六日の未明には北海道で未曾有の大地震が突然発生し、北海道全土が停電等惨憺たる状況となりました。六日の報道は東日本大震災時を彷彿とするような北海道各地の被害

状況を伝えるニュースばかりで、こちらも復旧への道のりが極めて困難な状況にありま  
す。併せて考えてみますと、  
この二つの天災の狭間、まさにエアポケットの九月五日に式典を開催できたことは奇跡・幸運としか言いようがありません。天に感謝です。  
当式典においては、会津高等女学校と会津女子高校の校歌を合唱部が清らかに歌い、現葵高校校歌を生徒と職員が一つになって歌い上げてくれました。見事な出来映えで、とても感動しました。また、式典の終わりに吹奏楽部が改めて編曲された校歌を美しく演奏してくれて、良い締めくくりとなりました。記念講演では、フリーアナウンサーの唐橋ユミさん（一九九三年第四十五回卒）に「私の空気のつくり方」という演題でお話しいただきました。高校時代の体験や思いを、偽りなく飾らずにお話しされ、私たちは多くの示唆や共感をいただきました。私の印象ですが、本当に清楚で気さくな方で、何より人の話を真摯に聴く姿勢をもった方です。謙虚でありながら一本筋の通った強さも垣間見え、「葵」のように「凜」としたイメージを抱かせてくれる方でした。私も初対面ながら、旧知の仲のようにいつまでも話していたいと思わせてくれる人物でした。

講演後も、生徒や同窓会、教職員のために応じて丁寧な答えていただき、本当に素晴らしい講師の方にお出でいただいたと心から思っています。  
さて、冒頭の写真について説明しなければなりません。実は私は唐橋ユミさんが卒業された翌月に会津女子高校に着任しました。当時を振り返るべく、先日その年度（一九九四年 第四十六回卒）の卒業アルバムを何気なく見たところ、何と宮崎洋子同窓会長と私が偶然並んで載っていました。びっくりしました。何か急に因縁めいたものを感じてしまいました。二十四年の歳月を経て、また記念式典会場において並んで座る恐ろしいほどのご縁を感じてしまいました。宮崎会長、ありがとうございました。ごさいます。

今回の記念式典を通して、私は本校の長い歴史と伝統、そしてその繋がりを深く感じました。同窓会や三万二千余りの卒業生の方々を初め、関係する方々、現葵高校の生徒・教職員、皆さんの思いが凝縮された最高の一日でありました。一方で、これからの葵高校を一層「葵」のように「凜」としたものにしていかなければならないという責務も改めて感じ、身の引き締まる思いもしています。一所懸命頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



講演

記念講演  
講師 唐橋 ユミ氏  
演題 「私の空気のつくり方」



PTA会長 閉会のことば



生徒代表のことば



式典パンフレット



講演者お礼のことば



生徒代表お礼のことば